

くにさきだより

2021 第58号

益田市立介護老人保健施設くにさき苑基本方針

1. 地域包括ケアサービス施設として、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。
2. リハビリテーション施設として、集中的な維持期リハビリテーションを行います。
3. 在宅復帰施設として、早期の在宅復帰に努めます。
4. 在宅生活支援施設として、家族の介護負担の軽減に努めます。
5. 地域に根ざした施設として、地域一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

発行：益田市立介護老人保健施設くにさき苑

広報委員会

〒699-3676 島根県益田市遠田町1956-8

TEL: 0856-22-1150

FAX: 0856-22-1237

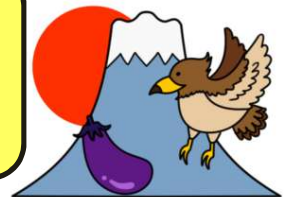
E-mail: kunisaki@masumi.shimane.med.or.jp

URL: <http://kunisaki.masuda-med.or.jp/>



新年のご挨拶

益田市立介護老人保健施設くにさき苑
施設長 澄川 学



明けましておめでとうございます。With コロナ3年目の年明けです。

新型コロナウイルス感染症が武漢で発生したのが2019年12月末、約2年が経過しました。翌年1月30日にWHOが緊急事態宣言が、2月3日にクルーズ船が横浜に入港、今の様な状況になるとは当時思いもなかった。震災や火災は一瞬のうちに壊滅する恐ろしさがあるが、感染症は持続する災害のようで、その被害は連続して広域にどんどん広がっていく怖さを実感した1年であった。又日々変化する状況に困惑しながらの発熱外来、ワクチン接種に明け暮れた1年でもあった。例えば適切でないが、C型肝炎ウイルスは1989年にウイルスの一部が同定され、インターフェロン治療の時代から2014年のインターフェロン・フリー療法へと今ではほぼ完治可能となったが、ここまでの月日は1/4世紀を要した。今回の新型コロナウイルスは、有効なワクチン開発・中和抗体カクテル療法をはじめとする注射剤・経口内服薬と飛躍的進歩により、この1年で基本的な治療方法が確立したことは驚くばかりある。科学技術の進歩とグローバル社会の恩恵は大きかった。

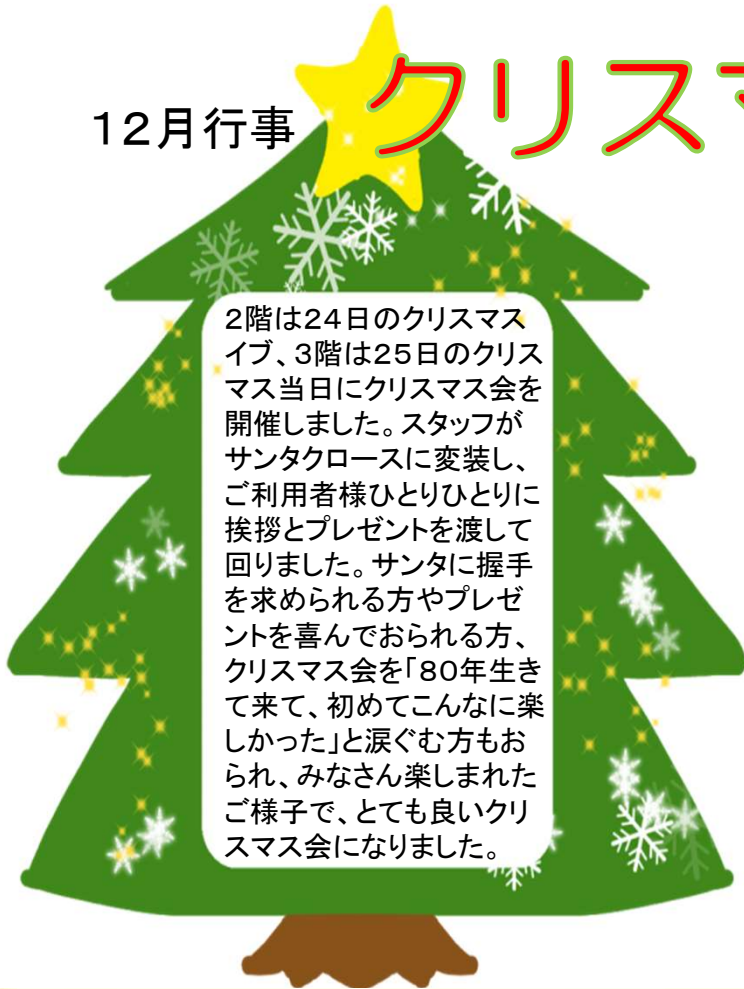
一方国内では感染防止の支援継続、診療報酬上の特例的対応の拡充の為、加算や補助金支給が幅広く行われたものの、申請条件・書類作成等の事務的処理の繁雑さは大きな負担となり、国の縦割り行政の弊害を実感した。又ワクチン接種も職員には大きな負担となった。そのワクチン接種の底上げを図るため一定の条件に達すれば1回あたりの支援追加を図ったり、さらに接種料金の公的価格の設定は現場感覚を無視したものだった。今後平時と非常時を区別した診療報酬体系のあり方に課題が残った。

またこの1年、県内では数ヶ所の施設でクラスターが発生した。くにさき苑にも緊張感が走った。予防策が第一であることは当然であるが、これを契機にクラスターが発生した場合の対応策を考えることとなった。これはBCP(事業継続計画)の一環でもあり、これを病院と協力しながら具体化し報告、実践化することが、この1年のくにさき苑にとって大きな課題の一つである。くにさき苑に関してもう一つの課題がLIFEであり科学的介護情報システムと呼ばれVISITをより発展させたものでICT(情報通信技術)導入支援事業によるものである。介護サービスを可視化し、そのデータを国へ提出・分析され、そのデータは各施設へフィードバックされ全国標準化へと展開させようとするものである。これは多職種連携の下にケアの質向上・利用者の満足度へつながるものと考えている。職員のみみんなが利用出来る環境づくりが必要で、LIFEを通し多職種連携の重要性を再度確認するいい機会でもある。

今後もしばらく続くと思われるwithコロナだが、この1年が正念場になるのか？気を緩めることなく終息に向け、今までの生活を続けるしかない。

12月行事

クリスマス会



2階は24日のクリスマスイブ、3階は25日のクリスマス当日にクリスマス会を開催しました。スタッフがサンタクロースに変装し、ご利用者様ひとりひとりに挨拶とプレゼントを渡して回りました。サンタに握手を求められる方やプレゼントを喜んでおられる方、クリスマス会を「80年生きて来て、初めてこんなに楽しかった」と涙ぐむ方もおられ、みなさん楽しまれたご様子で、とても良いクリスマス会になりました。



11月行事

クッキング

今年はコロナウイルスの影響で芋の苗植えや芋堀はスタッフのみで行いました。ですが、11月は緊急事態宣言も解除され、少し落ち着いてきたので、利用者様みんなで取れたてのお芋を使ってスイートポテトを作りました。みなさん真剣に黙々と作っておられ、できたスイートポテトをおいしそうに食べておられました。



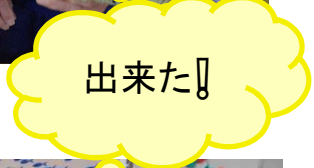
デイルーム



ジングルベール♪ジングルベール♪
今年も窓にはスノーパウダーによる
ツリーとサンタが出来ました。
幻想的に見えるでしょうか？
クリスマスにはサンタからのプレゼント
もありました。



利用者の皆様と一緒に、正月飾りを作りました。
しめ縄や門松等、作り慣れているご利用者様達は手際
良く作って下さいました



10月行事

運動会



令和3年10月21日くにさき苑の運動会を実施しました。

例年では玉入れ等、紅白に分かれて競うところですが、いまだコロナの影響があり密をさけながら実施となりました。

係の職員で検討した結果、頭の体操として連想ゲームしました。

利用者様からも活発な発言もあり、笑顔もみられました。

恒例のパン食い競争は今年はパンを月餅に変え、利用者様にも食べやすいサイズにしました。利用者様が競技参加することは感染対策の観点から避け職員のみ実施しあとで全員で美味しくおやつを頂きました。

来年は利用者の方も一緒にパン食い競争や玉入れを楽しめる環境になっているといいなと思います。

面会禁止のお知らせ

新型コロナウイルスによる感染防止のため、原則面会禁止しております

※入所・退所時の付き添いは1名までとさせていただきます。

※12歳以下の方の入苑はお断りします。

※入苑時のマスク着用へのご協力をお願いします。

編集後記

新年 あけましておめでとございます。

みなさま 年末年始はいかがが過ぎこしにられましたでしょうか。例年に比べて今年の年末年始はあまり寒くなく雪もそれほど降らなかったため、過ぎこしやすかったです。

さて、今回のくにさきだよりは10月の運動会、11月のお芋の夕キング、12月のクリスマス会について掲載させていただきました。なかなかコロナウイルス感染症が終息しない中、少しでも利用者さまに明るく楽しく過ごしていただけるようこれからも職員一同努めてまいります。

末尾になりましたが、昨年は皆さまには大変お世話になりました。また今年も一年よろしくお願致します。

行事予定

1月 新年会

2月 節分

3月 ひな祭り

※変更になる場合があります